

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商店街空き店舗有効活用事業				会計	款	項	目	大	小
					01	07	01	02	02	53
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）			主管課	商工振興課				
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化			主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	創業者及び創業予定者並びに空き店舗を抱える商店街	意図	商店街の活性化と新規開業を促進する。
事業内容	地域経済の振興と市内商店会の活性化を図るため商業団体が行う商店街空き店舗有効活用事業及び商業活性化アドバイザー派遣事業の一部に対して補助を行い、にぎわいを創出する。			
事業開始から現在までの状況変化	産業競争力強化法の施行により、平成26年10月31日付けで流山市は創業支援事業計画の認定を総務大臣・経済産業大臣より受けた。これを受け年2件の新規補助に努める。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補助対象事業数	0	1	5	件	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度	空き店舗等に係る相談件数は、増加傾向にある。 引続き、商工会議所との連携や情報の共有、他の支援団体である、千葉県信用保証協会、㈱日本政策金融公庫、市内金融機関などとの連携を進め、市内空き店舗の有効活用を図る。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,506,000	3,132,000	5,566,400			
事業費(b)(円)			1,759,000	4,224,000			
うち一般財源			1,759,000	4,224,000			
職員給与費(c)(円)		1,506,000	1,373,000	1,342,400			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	創業者及び創業予定者への相談体制の強化	③取組の課題	・補助金制度終了後の経営指導。 ・経営時間や営業形態等多様な経営形態にあった補助金制度の改正
②今年度(H29)に実施した取組	流山商工会議所と連携し、事前協議の段階より経営指導を義務付け、持続的な経営が行えるよう助言・指導に努めた。	④今後(H30以降)の改善計画	開業後おけるサポートや経営指導に努める。